

鶴見区内各地で放射線量測定



▲「よこはま健康友の会」のみなさんと一緒に放射線量を測定する古谷やすひこ議員（右手前）＝10月24日三ツ池公園

日本共産党横浜市議団は、林市長に対して、放射能対策についての緊急申し入れを2回行い、放射線量の測定や対策部体制の強化などを要求しています。＝10月28日横浜市役所▶



放射能の影響が心配されています。

日本共産党の古谷やすひこ市議員は、放射線量測定器を購入し、地域のみなさんと鶴見区内の各地で放射線量測定を行っています。

いままでに、潮田公園や三ツ池公園、通園、通学路など20回以上の測定会を実施。ブログやツイッターに寄せられた要請に応じて測定に出かけることもあります。

マンションの屋上や側溝などにホットスポット

通常、人が通るところでは0.06～0.08 μ sv/h（マイクロシーベルト/毎時）ですが、道路の隅や水はけの悪いところでは0.1 μ sv/hを超える高い傾向が見られます。

あるマンションの屋上では0.648 μ sv/hと、市の基準値（0.59 μ sv/h）を超える値が検出されました。さっそく市に対応をお願いしましたが、民有地では個人が責任を負うしかないのが現状です。

お気軽に
声かけを！

放射能測定に伺います。

区内ならどこでも、測定に伺います。電話ください。

090-6528-9414

またはブログ（「古谷やすひこ」で検索）にご連絡ください。

特養入所待ち326人、全く足りない区内の施設

1月にオープンしたばかりの「しょうじゅの里鶴見」にすでに7.7倍の応募者！

2012年1月に、鶴見区に3つ目の特別養護老人ホームとして「しょうじゅの里鶴見」がオープンする予定です。11月18日に内覧会に伺ったところ、まだオープンしていないのにすでに90人定員いっぱい。入所を待っている方は700人を超えているというお話でした。

区の調べでは、特別養護老人ホームの入所待ちの方は、横浜市全体で4090人、鶴見区では326人です。この数には、老人保健施設などに入っている人は含まれておらず、実際にはもっともっと多くの方が入所したいと願っています。

一方、区内の特別養護老人ホームは現在わずかに2つで、2013年度に矢向1丁目にオープン予定の施設を入れてようやく4つです。特別養護老人ホーム数が一番多い旭区の17施設に比べて、格段に少ないのが現状です（2011年4月1日現在。区役所調べ）。年齢を重ねても安心して住み続けられる鶴見区には程遠い状況です。

日本共産党市議団は、介護保険計画について林市長に申し入れを行い、特別養護老人ホームなどの施設を増やすよう強く要求しています。

■鶴見区内の特別養護老人ホーム

	定員数	ショートステイ
新鶴見ホーム	214 床	56 床
やまゆりホーム	80 床	8 床
しょうじゅの里鶴見（2012年1月開所）	90 床	10 床
わかたけ鶴見（2013年開設予定）	100 床	20 床
合 計	484 床	94 床



▲鶴見区3つ目の特別養護老人ホームとなる「しょうじゅの里鶴見」（江ヶ崎町）



古谷やすひこ

ふる や

日本共産党横浜市議会議員

●事務所：〒230-0037 横浜市鶴見区潮田町2-120-2
●電話：045-504-5121 ●FAX：045-504-7331

市政報告写真NEWS 2012年早春号

あなたの声をなんでもお寄せ下さい。

●鶴見の街づくり双方向サイト



検索してください

つるみボイス

検索

ブログからでも

古谷やすひこ

検索

●電話でもお待ちしております

無料生活相談もお電話で

携帯電話：090-6528-9414

日本共産党
JAPANESE COMMUNIST PARTY

